RIBF-ULIC-miniWS032

仁科センター共用促進・産業連携部公募研究会 申請書（mini-WS用）

提出年月日： 2014年8月29日
提出先： sympo-kyoyo[at]ribf.riken.jp

1） 開催予定日・場所

日程： 2014 年 9 月 22 日 (yyyy/mm/dd) ～ 2014 年 9 月 22 日 (yyyy/mm/dd) （開催日数 1 日間）
場所： RIBF棟203

※ 事前に仁科センターのセミナー委員会（ npsoc@ribf.riken.jp ）に連絡し、日程重複を避けるようにしてください。

2） タイトル

英文 （※必須）	Current status of microscopic description of nucleus-nucleus scattering
和文	原子核-原子核散乱の微視的記述についての現状

※ 採択された研究会はRIKEN Accelerator Progress Report に掲載するため英文タイトルは必須です。

3） 目的 (400字以内・書式自由)

RIBFでの実験研究を進める上で、信頼性の高い反応解析の確立は重要である。その中核となるのは、核子-原子核ないしは原子核-原子核の散乱現象を核力に基づいて記述する、微視的反応論である。最近、微視的反応論による原子核-原子核散乱と関連して、RIBFでの実験計画と理論研究にまたがる1つの大きな課題が提示されている。それは「^{24}O-^{48}Caなどの原子核-原子核の弾性散乱から、非対称核物質の状態方程式を決定できるか?」というものである。近年の理論研究から、重イオン弾性散乱の角度分布には、高密度環境における核子間相互作用(2体力)の情報が反映されているという示唆が得られている。また高密度での2体力には、3体力も影響を及ぼすことも併せて主張されており、実験データとの定量的かつ系統的な比較も計画されるなど、高い注目を集めている。
しかし現状では、この3体力が散乱観測量にもたらす影響について、モデルによる依存性が存在する。本ワークショップでは、3体力効果のモデル依存性を明確化し、どのようにしてモデルの峻別を行うかの具体的な提言を纏める。

4）世話人

世話人全員を記入。欄が不足する場合は行をコピーしてください。

	氏名	所属機関	電話	E-mail
世話人代表者 ※1	緒方 一介	阪大RCNP	06-6879-8947	kazuyuki@rcnp.osaka-u.ac.jp
世話人2				
世話人3				
RIBF内世話人 ※2	上坂 友洋	理研仁科センター	048-467-9383	uesaka@riken.jp

※1 世話人代表者は、理研RIBF外の方が望ましい。
※2 理研RIBF内に世話人がいない場合は、事務局へご連絡ください。

5） 参加予定者・補助概算額

欄が不足する場合は行をコピーしてください。

氏名	所属機関・身分	旅費補助 ※補助予定者についてのみ記入				
		交通費概算		宿泊費概算		
		経路	金額	単価	泊数	宿泊費計
櫻木 弘之	大阪市立大学・教授	新大阪⇔和光市	￥30,000			￥ -
古本 猛憲	一関工業高専・講師	一ノ関駅⇔和光市	￥26,000			￥ -
蓑茂 工将	阪大RCNP・教務補佐員	新大阪⇔和光市	￥30,000			￥ -
緒方 一介	阪大RCNP・准教授	新大阪⇔和光市	￥30,000			￥ -
						￥ -
						￥ -
						￥ -
						￥ -
						￥ -
						￥ -
						￥ -
						￥ -
						￥ -
合計		￥				116,000

参加予定者全員の氏名・所属機関を記入し、旅費補助予定者については補助概算額を記入してください。
【注意事項】 - 外国から招へいする場合は、日本国内の旅費と宿泊費をサポートします。
- 東京都・埼玉県内に勤務する参加者は旅費補助の対象外です。
- サポートは実費です。
- 宿泊費は6,720円／泊を上限とします。

■ お茶代

ミニワークショップについてのお茶代の補助はありません。

補助申請額合計	￥ 116,000

※ 上限：150,000円